

中村設計新聞

第十五号

十月十六日(土)晴れ

「笑い」をテーマに「笑い」の本場・大阪に行き漫才を観劇にいきました。

○はじめに



笑うという行為は、医学的にも身心共にとても良い事と証明されています。そして、笑う事は誰でもできることです。「笑い」の本場大阪で漫才を観劇し、大阪らしさも感じながら所員みなでお腹の底から笑って、身心共にリラックスしてきました。

☆スケジュール☆

- 恵美須町駅(地下鉄) 到着
- 商店街散策(スマートボール体験)
- 昼食(串屋「やまと屋」)
- 漫才観劇(通天閣劇場)

○新世界の街

大阪の地下鉄恵美須町駅を上ると目の前には、通天閣がそびえ立っていました。まず通天閣に上り大阪の街並みとピリケンさんを見学しました。ピリケンさんは想像より怖い顔をしていました。

通天閣を降りた後は、ジャンジャン横町等がある商店街に繰り出しました。商店街はど



阪神タイガースのユニフォームを着ていました。

○アンケート

研修後のアンケートで笑ってリフレッシュできましたか?という間に全ての所員が「はい」という回答でした。又、「大阪らしさ」を感じた部分では街並みという意見が一番多かったです。「笑い」をテーマにした研修で所員みんなが笑ってリラックスできたみたいでよかったです

○まとめ

日頃の忙しさの中で研修を通してみんなで笑ってリラックスができました。又、漫才・落語を見て若手の勢いとベテランの安定感を感じました。まだ若手の私は勢いを持って仕事に取り組みುತ್ತと思います!!!



通天閣をバックに

○新世界と漫才

通天閣(新世界)に行ってきました。一時間足らずで行ける所なのですが、機会がなく、初めて行く事が出来ました。新世界のイメージは何となく怖く陰気な感じがしていましたが、実際に行ってみてそんなイメージが一掃されました。又、思っていた以上に店(串屋)が多く活気も感じられました。

その後、松竹芸能の漫才を観劇しに行きました。やっぱり芸歴の長い方は安定感があり、笑いを堪能することができました。身心共にリラックスできた一日となりました。

レポート 土岐 基裕

○番外編

○秋の遠足



昨年の愛宕山ハイキングから一年、今年も行われた「秋の遠足」。今回は紅葉には少し早いけれど、奈良県宇陀市室生にある「花の郷 滝谷花しょうぶ園」へ、京都から電車で片道約二時間程かけて行ってきました。最寄りの駅から歩いて約二十分位のところだったので天候も晴天で気持ち



とてもいい天気でした。レッツらゴ-



良く田園風景の中を歩いていると、意外にもすぐに「ようこそ」の看板が目に入ってきました。楽勝ムードでゲートをくぐるとそこから先は延々と続く上り坂...。それでも、少し息が切れるものの自然の中を歩くのは、空気もおいしく、いろいろ話しているうちに、あっという間に目的地に辿り着きました。早速、パーペーキューを囲んでみんなでワイワイとおいしい食材を堪能しながら、久しぶりにゆつくりとした時間を過ごすことができました。



○鳥田 篤志

帰るにはまだ早いので、途中下車して長谷寺に寄りました。仁王門をくぐると、とても美しい回廊が続き、そこを抜けると本堂に出て、そこには自然に突き出す大舞台が広がります。空間の構成が繊細かつダイナミックで、久々に訪れた長谷寺に感動させられました。



自然の中でみんなで食べる料理はとても美味しかったです!

ここから上り坂が...えっ!



ここから上り坂が...えっ!



中村設計の若き四人衆

レポート 鳥田 篤志